

誓 い

本日、平成25年度「みやざき愛の献血運動推進県民大会」に県内各地からお集まりいただいた大勢の皆様を代表して「誓いのことば」を述べさせていただきます。

私は宮崎産業経営大学経営学部4回生、学生赤十字奉仕団の委員長を務めております西生樹と申します。

私たちの学生奉仕団は設立して今年で3年目になります。日頃の活動としては校内における献血の際に学生への献血呼びかけや、大学内の清掃活動、また年末の海外たすけあいの街頭募金活動の参加など、自分たちに出来る身近な活動に取り組んでおります。

現在、日本は少子高齢化社会となっており、元気な高齢者も数多くいらっしゃいますが、輸血を必要とする高齢者も増加しているとお聞きします。

一方、私たちと同世代の10代、20代の献血者が10年前に比較して約35%も減少しているとお聞きし、とても残念な気持ちになりました。

しかし、私たち若い世代が献血に無関心ということではないと私は考えています。なぜなら、宮崎産業経営大学の献血の際に、多くの大学生が私たちの呼びかけに対して快く応じている姿を間近に見ているからです。きっかけがあれば献血に参加する気持ちはあると私は信じています。私たち学生の一声で、献血に参加するかどうか迷っている人の背中を、そっと押すことが出来るなら、その思いを結集して、私たちは今後も献血推進活動を身近なところから続けていきたいと思えます。

本日のこの大会の開催を機に、献血は、見知らぬ誰かの「大切ないのち」を救うことの出来るとても大切な、そして身近なボランティアであることを多くの方に知ってもらい、助け合いの輪を広げて、思いやりの心に満ちあふれた社会が築かれることを望みます。

そして、この大会にお集まりの皆さま方と一緒に、これからも献血推進の活動を積極的に進めていくことをここに誓い、参加者を代表して「誓いのことば」といたします。

平成25年10月28日

宮崎産業経営大学学生赤十字奉仕団

委員長 西 生 樹

平成25年度「みやざき愛の献血運動推進県民大会」－誓いのことば－

平成25年度

みやざき愛の献血運動推進県民大会

プログラム

と き：平成25年10月28日（月）

と ころ：宮崎県総合保健センター



主催：宮崎県・市町村・日本赤十字社宮崎県支部

第 1 部

式典

開会のことば

主催者あいさつ

宮崎県副知事
(日本赤十字社宮崎県支部副支部長)

稲 用 博 美

宮崎県市長会

橋 田 和 実

来賓祝辞

宮崎県議会議長

福 田 作 弥

宮崎県医師会会長

稲 倉 正 孝

表彰

厚生労働大臣表彰状伝達

2 団体

厚生労働大臣感謝状伝達

5 団体

宮崎県知事感謝状贈呈

5 団体

日本赤十字社金色有功章伝達

6 団体

日本赤十字社銀色有功章伝達

6 団体

日本赤十字社宮崎県支部長感謝状(金枠)贈呈

5 団体

日本赤十字社宮崎県支部長感謝状(銀枠)贈呈

3 団体

受表彰者代表謝辞

西都青年会議所 理事長

池 水 隆 寿

誓いのことば

宮崎産業経営大学
(学生赤十字奉仕団委員長)

西 生 樹

第 2 部

講演

『準優勝までの軌跡』

延岡学園高校

野球部監督 重 本 浩 司 氏

閉会のことば

日本赤十字社宮崎県支部 事務局長 甲 斐 睦 教

献血のうた

皇太后御歌

見るがうちによみがへりゆく肌の色に

ささげつる血のたふとさを思ふ

数多き人の命をすくふべく

血しほいださなきそひたちつつ

皇太后陛下には、かねて献血運動に深い御関心をよせておられました。昭和35年9月に東京で「輸血に関する国際会議」が開かれたおりに、日本赤十字社名誉総裁としてこの御歌二首を賜りました。